



## 物流サービス事業

物流業界を取り巻く環境は、慢性的な人手不足や運送業界に大きなダメージを与える2024年問題によるトラックドライバー不足、環境面ではCO<sub>2</sub>削減、更には原材料や人件費の高騰によるコスト増など、一段と厳しさを増しております。そして、物流サービス事業の主要顧客である自動車業界でも、電気自動車（EV）の生産の加速など、これまでの環境が大きく変化しつつあります。

こうした環境変化を踏まえ、物流サービス事業は「物流サービス+IT」をベースに、倉庫内の物流オペレーションの効率化を図るとともに、その前後工程である輸配送をも巻き込んだ全体最適化（ドライバーの負荷軽減、CO<sub>2</sub>削減等）をご提案することでお客様への付加価値を向上させ、更なる拡販により業績の確保に繋げていきます。

物流サービス事業は「人」が最も重要な経営資源のひとつであり、事業の継続・発展のカギとなります。従業員の働きやすい環境を整備し、定着率の向上を図るとともに、成長していく全ての従業員がOne Teamとなり、お客様の立場に立って、お客様の課題・お困りごとにお応えしていきます。

また、現場と営業が一体となり、当社の強みであるトヨタ生産方式をベースとした現場運営力によって、さまざまな改善提案活動を展開していきます。更に、情報サービス事業・人材サービス事業との更なる連携強化を図り、エリア単位での拡販活動を推進していきます。

今後も、サステナビリティへの取り組みを推し進めるとともに、さまざまな研究開発やDXの展開を進め、将来に亘りお客様からも従業員からも選ばれる企業となるよう、活動を進めてまいります。

## 自動車サービス事業

デジタル技術とサービスを掛け合わせた新たな価値の創造と、自社整備工場を核とした三位一体のサービス提供（サービス・営業・アシスタント）により、「車社会に夢・豊かさ・安心」の実現に貢献していきます。

全国で車両を利用する法人のお客様には、「人・組織・車両」を管理するシステム『KIBACO』によるカーマネジメントサービス（当社独自の車両管理サービス）、地域の法人・個人のお客様には、自社整備工場を核としたリースや保険、整備の各サービスにて安全・安心の提供やコスト削減などを実現する価値、を現場と営業が一体となってお客様に寄り添い・提供することによって、お客様のお困り事やニーズにお応えするとともに、拡販活動を推進していきます。

また、「車両の所有から利用へ」と変化する世の中において、『KIBACO』のDX推進、自社整備工場を中心とした「EV車や高度化する次世代自動車」への対応強化に取り組み、お客様への更なる価値提供を推進するとともに、CASE・MaaSなどによる、新しいモビリティ社会の実現に貢献してまいります。

## 情報サービス事業

物流サービス事業との連携を強化し、物流のDX（IT+物流オペレーションの深化）を推進することで、「高品質・高生産性、かつ働く人にとって働き甲斐のある物流現場づくり」を進めます。

また、これまでの50年以上の歴史を通して培ったキムラのシステム開発力で、新規のお客様への拡販や既存のお客様の新たなシステム開発への参画により、お客様の変革をご支援してまいります。

### 「入出庫作業時間管理システム」に関する特許取得



#### ～ミニマム要員と出荷納期保証を両立するオペレーションの実現～

2023年3月におきまして、物流現場における入出庫作業の最適な時間管理を実現するためのシステムに関する特許を取得いたしました。

#### ■特許概要

特許番号 : 7239652 発明の名称 : 出庫管理装置  
 特許取得日 : 2023年3月6日

#### 開発の背景

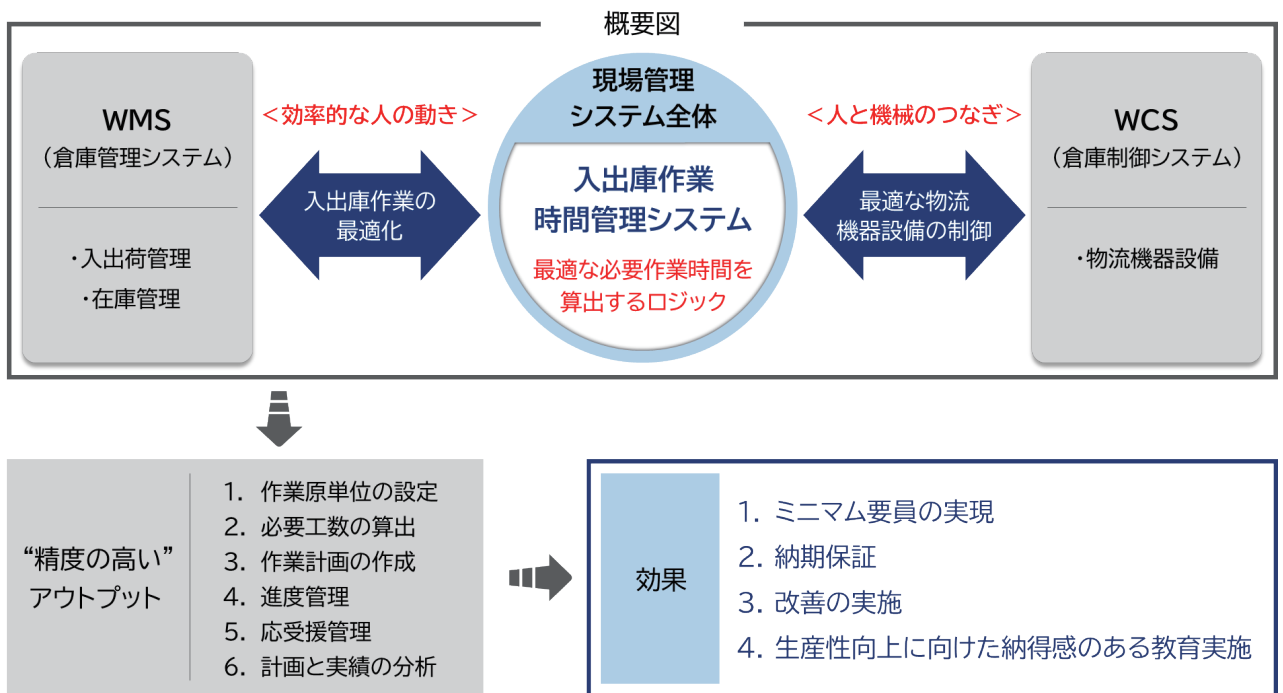
物流現場では主に、過去の実績に基づいて作業計画を立てていますが、日々作業する量と種類が変わる中で、計画通りに作業を行うことは非常に困難です。そのため、現場は人員を多めに配置し、納期を保証しようとするのですが、これには、物流コストが増加してしまうといったマイナス面があり、物流現場において、要員管理・納期管理は長年の課題となっていました。

#### 本システムの概要

こうした課題に対し、当社は「ミニマム要員と出荷納期保証を両立するオペレーションの実現」をコンセプトに、本システムを開発いたしました。

本システムの最適な必要作業時間を算出するロジックと、お客様が使用されている既存のシステムを連携することで日々、作業する量と種類が変わる中でも、人の動きを効率化する作業指示のつくり込みと、その作業指示に合わせた最適な物流機器設備の制御を行うことが可能となります。その上で、本システムは、当日の納期を保証するための最適な人の配置と、これまで以上に精度の高い作業計画を立てることができます。

また、この精度の高い作業計画に基づき、リアルタイムで進捗管理を行うことにより、今、どの位工数が足りていないのかを見える化し、納期を保証しながら、常に最小人数でのオペレーションを可能とします。



#### 今後の展開

今回開発した本システムは、長年物流業界に関わってきた、当社の実績・ノウハウから生み出されたものです。昨今の人手不足の状況下においても、当社の現場力と本システムによって、お客様のニーズを満たす、当社ならではの高品質なサービスを提供します。

今後、当社のDX戦略の推進を強化し、当社が強みとしている「物流オペレーション+IT」によって、お客様へ更なるお役立ちを行ってまいります。

お客様のニーズにお応えするために

官民共創による減災に向けた取り組み



企業が関心のある社会課題を提示し、それに対して自治体が課題解決のための企画やアイデアを提案する共創サービスである「逆プロポ」<sup>※</sup>を活用し、永年に亘り当社が物流業界で培ってきた適切な人員配置に関するノウハウを、大型災害時における住民の避難場所誘導など、減災に向けた環境整備に活かさないかと考えています。

現在当社は、自治体の意見を取り入れた官民共創の有事シミュレーション（防災訓練等）システム構築の実証実験に協力させていただいております。



現在開発中の画面イメージ

この度の取り組みは、自社開発の要員管理システム「スマートキャスティングボード」を活用し、物資・物流管理の最適化、災害発生時の避難所における避難者の把握や救援者等の各拠点への配置などを可視化し、減災に取り組むものです。

大規模災害から、そこにお住まいの住民の方々の生命と豊かな生活を守り、サステナブルな社会の維持・発展に寄与してまいりたいと思っております。

★減災プロジェクトへのリンク <https://gyaku-propo.com/project/project008>

※「逆プロポ」とは

株式会社ソーシャル・エックスが提供する官民「共創」型のプラットフォームです。企業が関心のある社会課題を提示し、それに対して自治体が解決のための企画やアイデアを提案する共創サービスで、アイデアを出す側と選ぶ側を従来と逆転させた、社会課題解決のための画期的な仕組みです。

スマートキャスティングボード（適正要員配置管理システム）

工数の見える化で働きやすく

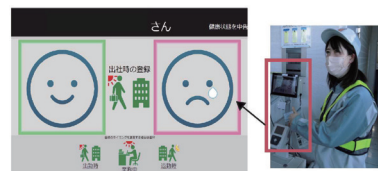
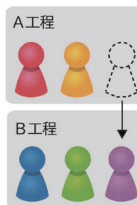
近年の働き方の変化によって、複雑化する要員管理を簡単にする。そして、働く皆さんのスキルをより有効に活用する。

働く皆さんのスキルに合った作業アサインを可能にする当システムは、働きがいのある職場の実現や雇用創出にも寄与します。

| 工程  | 要員 | 作業時間 | 作業内容 | 作業場所 | 作業時間 | 作業内容 | 作業場所 |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|
| A工程 | 1人 | 10分  | 作業   | 現場   | 10分  | 作業   | 現場   |
| B工程 | 2人 | 20分  | 作業   | 現場   | 20分  | 作業   | 現場   |



スマートキャスティングボード上で工程毎の過不足工数を一目で確認することができ、マウス1つで人の応受援計画の作成が可能になります。工程間の人の移動も簡単にできます。



工程毎の工数が確認できるだけでなく毎朝の出勤時に健康チェックを行えばスマートキャスティングボードに反映されます。これを見れば、上司はメンバーの健康状態がすぐに分かります。

『みんなの場』で地域、企業、働く人への貢献の推進



地域貢献活動の一環として、株式会社 CUUSOO SYSTEM が提供する Web サイトサービス『みんなの場』で、全国の当社グループの事業所があるエリアにてエリアサイトを展開し、法人向け、個人向けのサービスを拡充してきました。

当社グループでは、「仕事環境の整備・求人」という課題に対し、一企業だけでは解決しづらい「働きやすい地域・職場」づくりを、安全をキーワードに、地域・企業の皆様と共に取り組んでいきます。

- ①. 自分の住んでいる地域社会の中で「働きたい人」と、その地域社会の中で企業活動を営んでいる「採用したい企業」とをマッチングし、雇用促進を図ることによる地域貢献の促進
- ②. 就業環境の整った地域社会・職場づくりへの貢献
- ③. 企業の製品・サービス・イベントなどの魅力を発信することによる、ビジネスマッチングの促進

当社グループでは、これからも地域、企業、働く人への貢献を推進し、当社グループがお客様にも従業員にも「選んで良かった」と言っていただけ関係づくりをしてまいります。